

入 札 説 明 書

「岩手県立磐井病院・南光病院・花泉地域診療センター医療情報システム構築業務」の入札については、入札公告文及び関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

この入札説明書は、岩手県医療局が発注する調達契約に関し、一般競争入札に参加しようとする者（以下「入札参加者」という。）が熟知し、かつ、遵守しなければならない一般的事項を明らかにするものである。

記

1 調達内容

- (1) 調達件名 岩手県立磐井病院・南光病院・花泉地域診療センター医療情報システム構築業務
- (2) 数量 1 式
- (3) 調達件名の特質等 仕様書のとおり
- (4) 業務期間 契約締結日から令和 9 年 3 月 31 日（水）まで
- (5) 業務場所 岩手県立磐井病院（岩手県一関市狐禅寺字太平 17）
岩手県立南光病院（岩手県一関市狐禅寺字太平 17）
岩手県立磐井病院附属花泉地域診療センター（岩手県一関市花泉町涌津字上原 31）

2 入札及び契約に関する事務を担当する部局の名称及び所在地

岩手県医療局医事企画課 医療 DX 推進担当

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 11 番 1 号 盛岡地区合同庁舎岩手県医療局

TEL 019-629-6359（直通）

メールアドレス EA0005@pref.iwate.jp

3 入札参加資格

- (1) 法人は、次に掲げる要件を満たすこと。

ア 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。

イ 令和 7 年度において岩手県が発注する情報システム開発業務の委託契約に係る競争入札のうち地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令の規定が適用される調達契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等（令和 6 年岩手県告示第 583 号）に規定する情報システム開発業務の種類のうち、ソフトウェア開発及びネットワーク関連業務について、特定調達契約に係る競争入札に参加する者に必要な

資格を取得した者であること。

ウ 入札説明書 4 (3) に定める期日の時点において、県営建設工事の請負契約に係る条件付一般競争入札及び指名競争入札参加者の資格等に関する規程(昭和 56 年 3 月 27 日告示第 412 号) 第 7 条に規定する名簿(「県営建設工事競争入札参加資格者名簿」)に搭載されている者であること。

エ 民事再生法(平成 11 年法律第 225 号)に基づき再生手続開始の申立てをしている者若しくは再生手続開始の申立てがなされている者(同法第 33 条第 1 項に規定する再生手続開始の決定を受けた者を除く。)又は会社更生法(平成 14 年法律第 154 号)に基づき更生手続開始の申立てをしている者若しくは更生手続開始の申立てがなされている者(同法第 41 条第 1 項に規定する更生手続開始の決定を受けた者を除く。)でないこと。

オ この公告の日から落札決定の日までの間に、岩手県から一般委託契約に係る入札参加制限措置基準に基づく入札参加制限の措置又は文書警告に伴う入札に参加できない措置を受けていないこと。

カ この公告の日から落札決定の日までの間に、岩手県から県営建設工事に係る指名停止等措置基準、建設関連業務に係る指名停止等措置基準又は物品購入等に係る指名停止等措置基準に基づく指名停止の措置又は文書警告に伴う非指名の措置を受けていないこと。

キ オ又はカの文書警告に伴う措置を受けている場合、この公告の日において、当該措置を受けた日から 1 月を経過していること。

ク 事業者の代表者、役員(執行役員を含む。)、支店又は営業所を代表する者等経営に関与する者が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号) 第 2 条第 6 号に規定する暴力団員又は同条第 2 号に規定する暴力団若しくは同条第 6 号に規定する暴力団員と密接な関係を有している者でないこと。

ケ 本件入札に関して(2)に定める共同企業体の構成員となっていないこと。

コ 674 床以上の県立、市立等の公立病院における、医療情報システム導入、構築等に係る契約実績を有すること。

(2) 共同企業体は、次に掲げる要件を満たす 2 者又は 3 者以上の構成員からなる任意の団体であること。

ア 構成員間で次の(ア)から(コ)までに掲げる事項を定めた協定を締結していること。

(ア) 目的

(イ) 共同企業体の名称

(ウ) 構成員の名称及び所在地

(エ) 共同企業体の代表者の名称及び権限

(オ) 各構成員の出資比率又は分担業務の内容及び分担業務額の全体に対する割合

- (カ) 構成員の責任
- (キ) 業務履行中における構成員の脱退に関する措置
- (ク) 業務履行中における構成員の破産又は解散に対する措置
- (ケ) 共同企業体が解散した後の契約不適合責任
- (コ) その他必要な事項

イ 本業務の履行に関して中心的な役割を担い、かつ、出資比率又は分担業務額の全体に対する割合が最大の者が共同企業体の代表者であること。ただし、これらが最大の者が複数ある場合は、いずれかの者が代表者となること。

ウ 共同企業体の代表者が(1)イ及びウに掲げる要件を満たしていること。

エ 共同企業体の各構成員が(1)ア及びエからクまでに掲げる要件を満たしていること。

オ 構成員のいずれかの者が(1)コに掲げる要件を満たしていること。

カ 本件入札に関して各構成員が他の共同企業体の構成員となっていないこと。

4 入札参加表明及び入札参加資格確認

- (1) 入札参加を希望する者は、入札参加資格の確認を受けなければならない。
- (2) 令和8年2月18日(水)午後3時までに、入札参加表明書(様式第1-1号又は様式第1-2号)及び総合評価一般競争入札参加資格確認申請書(様式第2号)を2の場所に持参又は郵送により提出すること。

また、総合評価一般競争入札参加資格確認申請書の添付書類として次の書類を各1部添付すること。

ア 共同企業体協定書(様式第3号)

共同企業体で参加しようとする場合は提出すること。

イ 契約実績等調書(様式第4号)

674床以上の県立、市立等の公立病院における、医療情報システム導入、構築等に係る契約実績を記載し提出すること。

ウ 本委託業務を外部事業者の協力により履行する場合は、当該外部事業者の住所、名称及び代表者名並びに協力内容(任意様式)

- (3) 入札参加資格審査結果は、令和8年2月20日(金)までに総合評価一般競争入札参加資格確認申請書に記載された担当者にメールで通知する。入札参加資格がない旨を通知された者は、その理由について説明を求めることができる。説明を求める場合は、令和8年2月27日(金)午後3時までに岩手県医療局医事企画課総括課長あての書面(任意様式)を2の場所に持参又は郵送により提出するものとする。
- (4) (3)の入札参加資格審査結果通知時に、8の技術提案書に記載する会社名の仮名(A社、B社...)を担当者にメールで指示する。
- (5) (2)の書類を提出しない者及び入札参加資格がないと認められた者は、この一般競

争入札に参加することができない。

- (6) 入札参加資格がある旨の通知後に、通知を受けた者が下記のいずれかに該当する場合には、本件の入札参加資格を喪失するものとする。

ア 3で示す入札参加資格要件を満たさなくなったとき。

イ (2)で示す提出書類一式に、虚偽の記載があったとき。

- (7) 入札参加を辞退する場合は、令和8年4月2日(木)午後3時までに、入札参加辞退届(様式第5-1号又は様式第5-2号)を2の場所に提出すること。

- (8) 提出された申請書等について、入札日の前日までの間において岩手県医療局から説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

5 入札説明書等の交付

- (1) 入札説明書、技術提案書作成要領、岩手県立磐井病院・南光病院・花泉地域診療センター医療情報システム構築業務調達に係る落札者決定基準書(以降、「落札者決定基準書」)、契約書(案)及び仕様書は、秘密保持誓約書(様式第6号)と引き換えに、令和8年2月20日(金)までの休日を除く日の午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで、CDまたはDVDにて直接交付する。

また、来庁の前に、あらかじめ2のメールアドレス宛て希望日時を送り、アポイントメントをとること。

なお、仕様書を除く各書類については、下記ホームページよりダウンロードすることができる。

岩手県 HP トップページ「県の組織」欄の「医療局」

⇒ 医療局からのお知らせ

⇒ **【入札公告】**岩手県立磐井病院・南光病院・花泉地域診療センター医療情報システム構築業務

- (2) (1)の交付資料は、令和8年4月30日(木)までに2の場所へ返却すること。

6 構築業務の内容に係る説明

説明は行わない。

7 仕様書等に対する質問

- (1) 4で入札参加資格がある旨を通知された者は、仕様書等に対する質問がある場合、次により提出すること。

ア 提出期限 令和8年2月20日(金)まで

イ 提出場所 2の場所

ウ 提出方法 質問票(様式第7号)により、原則として、2に指定するメールアドレス

スへの電送により提出するものとする。ただし、やむを得ない場合に限り、持参または郵送による提出を認めるものとする。質問票のファイルは5のホームページで提供する。

なお、電送時における件名は下記のとおりとする。

件名 【業者名】【岩手県立磐井病院・南光病院・花泉地域診療センター医療情報システム構築業務 入札・質問】〇〇について

(2) (1) の質問については、原則として、令和8年2月27日（金）までに回答する。

(3) (2) の回答のうち、仕様書等に関することに対する回答は、次のとおり閲覧に供する。

ア 2の場所における閲覧 回答書作成後、令和8年2月27日（金）までの休日を除く日の午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで閲覧に供する。

イ 岩手県のホームページにおける閲覧 5（1）において、回答書作成後、令和8年4月2日（木）まで閲覧に供する。

8 入札手続き

(1) 入札参加者又はその代理人は、入札公告及び入札説明書等を熟知了承のうえ入札しなければならない。入札後、入札公告及び入札説明書等についての不知又は不明を理由として異議を申し立てることはできない。

(2) 落札者の決定は、総合評価一般競争入札をもって行うため、提案書（様式第8号）を提出すること。

また、以下の書類を添付すること。

ア 技術提案書 1式

技術提案書の作成については、「技術提案書作成要領」によるものとする。

イ 委任状（代理人が提出する場合）（様式第10号） 1部

(3) 提出日時及び場所

ア 提案書を持参する場合

(ア) 日時

令和8年3月13日（金）午後3時まで

(イ) 場所

2の場所とする。

イ 提案書を郵送する場合

(ア) 日時

令和8年3月11日（水）午後5時必着のこと。

(イ) 郵送先

2の場所あてとする。

(ウ) 送付方法

郵便（書留）とする。

(4) 入札手続に使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨とする。

9 提案書の評価

(1) 8 に示す提案書の提出期限後、「岩手県立磐井病院・南光病院・花泉地域診療センター医療情報システム調達に関する技術的審査委員会」（以下「委員会」という。）において、提案書を「落札者決定基準書」に基づき評価する。

(2) 委員会による評価は、非公開により行う。

10 プレゼンテーション

(1) 委員会において、提案書の記載内容の詳細や不明点を把握するため、プレゼンテーションを実施する。

(2) プレゼンテーションの順番は、8 の提案書が提出された時に、入札参加者にランダムな数字を記載したくじを引かせて決定することとし、全ての入札参加者がくじを引いた後、もっとも数字の小さいものから順にプレゼンテーションを行うものとする。

なお、提案書を郵送した場合にあっては、当該入札事務に関係ない職員がこれに代わってくじを引くこととする。

(3) 日時及び方法

ア 日時

令和 8 年 3 月 25 日（水）を予定。時間についてはプレゼンテーションの順番が決定次第、速やかに入札参加者のメールアドレスへの電送により通知する。

イ 方法

Web 会議システム方式（Zoom）

(4) プレゼンテーションに参加できるアカウント数は、法人又は共同企業体につき 1 つまでとする。

(5) プレゼンテーション時間は、1 提案 40 分（技術提案書の内容の説明におよそ 30 分、委員会からの質疑応答におよそ 10 分）とするが、都合により変更することがある。

(6) Web 会議システムによるプレゼンテーションに必要なパソコン及び通信回線等については、参加者で用意すること。

(7) プレゼンテーションは非公開により行う。

11 開札等手続

(1) 開札は、入札参加者又はその代理人が出席して行う。この場合において、入札参加者又はその代理人が立ち会わないときは、当該入札事務に関係のない職員を立ち会わせ

てこれを行う。

- (2) 落札決定に当たっては、入札書（様式第9号）に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札参加者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載するものとする。

- (3) 開札の日時及び場所

ア 日時

令和8年4月3日（金）午前10時

イ 場所

岩手県盛岡市内丸11番1号 盛岡地区合同庁舎5階医療局会議室

- (4) 入札書を直接提出する場合は、11（3）の日時及び場所に持参すること。

- (5) 入札書を郵便（書留郵便に限る）により提出する場合は、令和8年4月2日（木）午後5時までに2の場所に必着のこと。

また、封書は二重封書とし、入札書の中封筒に密封のうえ、当該中封筒及び外封筒の表面に次の事項を記載すること。

ア 氏名（法人にあつては商号又は名称）

イ 「4月3日入札（調達する役務名）の入札書在中」

なお、電報、伝送その他の方法による入札は認めない。

- (6) 入札書に関する事項

入札書は、岩手県医療局が示す書式により次のことを表示すること。

ア 入札年月日

イ 入札参加者の所在地、商号又は名称、代表者の氏名及び印（共同企業体の場合は、共同企業体名も記載する）

ウ 入札金額

エ 件名

オ 数量

カ 履行期間

- (7) 開札に関する留意事項

ア 入札参加者は、代理人をして出席させる場合においては、開札場に入場する際に受付に委任状を提出しなければならない。

イ 入札参加者又はその代理人は、開札場に入場する際に受付に名刺を提出すること。

ウ 入札場には入札参加者又はその代理人並びに入札執行職員及び立会い職員以外の者は入場することができない。

エ 入札参加者又はその代理人は、開札時刻後においては、開札場に入場することがで

きない。

オ 入札参加者又はその代理人が連合し、又は不穩の行動をなす等の場合において、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札参加者又はその代理人を入札場から退去させ、又は入札を延期し、若しくは取りやめることがある。

カ 入札参加者は、入札書の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分について押印をしておかなければならない。なお、金額は訂正することができない。

また、その提出した入札書の引換え、変更又は取消しをすることができない。なお、入札書の日付は提出日（郵送の場合は郵送日）を記入のこと。

12 入札保証金

(1) 入札金額の 100 分の 110 に相当する金額の 100 分の 3 以上の額とする。ただし、この一般競争入札への参加を希望する者が保険会社との間に岩手県を被保険者とする入札保証保険契約を締結したときは、入札保証金の全部又は一部の納付を免除する。

(2) 入札保証金は、契約の相手方が契約を締結しないときは、県に帰属する。

13 入札の無効

次のいずれかの項に該当する入札書は無効とする。

- (1) 一般競争入札に参加する資格のない者のした入札書
- (2) 入札参加者にもとめられている事項を履行しなかった者が提出した入札書
- (3) 指定の日時まで指定の場所に到達しなかった入札書
- (4) 記名押印のない入札書
- (5) 入札金額を訂正した入札書
- (6) 誤字脱字等により必要事項が確認できない入札書
- (7) 入札件名の表示に重大な誤りがある入札書
- (8) 同一入札参加者又は代理人が 2 つ以上提出した入札書
- (9) 委任状の提出がなされていない代理人が行った入札書
- (10) 入札参加者又はその代理人が同時に他の入札参加者の代理をした入札書
- (11) 明らかに連合によると認められる入札書
- (12) 他の入札参加者の入札参加資格を妨害する行為又は入札執行職員の職務執行を妨害する行為を行った者の入札書
- (13) その他入札に関する条件に違反した入札書

14 落札者の決定方法等に関する事項

- (1) 岩手県医療局財務規程（（昭和 51 年岩手県医療局管理規程第 6 号）第 190 条の規定により定められた予定価格の制限の範囲内であり、かつ、「落札者決定基準書」に基づき

評価して得られた総合評価点が最も高い者を落札者とする。

- (2) 落札者となるべき者が2者以上あるときは、直ちに当該入札参加者にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。また、入札参加者又は代理人がくじを引くことができないときは、入札執行事務に関係のない職員がこれに代わってくじを引き、落札者を決定するものとする。

15 再度入札に関する事項

- (1) 初度の入札において落札者がいない場合は、直ちに再度入札に付する。
- (2) 初度の入札において無効の入札をした者は、再度入札に参加することが出来ない。
- (3) 代理人に再度入札に関する行為をさせようとする入札参加者は、入札書の提出の際に委任状を提出しなければならない。ただし、11-(7)-アで予め委任状を提出している場合は、再度の提出を要しない。
- (4) 開札に立ち会わない入札参加者又はその代理人は、再度入札に加わることはできない。

16 落札決定の取消し

下記のいずれかに該当するときは、落札者の決定を取り消すことがある。

- (1) 落札者が契約者の指定する期日に契約を締結しないとき
この場合、入札保証金は還付しない。
- (2) 入札書の内訳金額と合計金額が符合しない場合
落札後、落札者に内訳書を記載させることがある。この場合において、内訳金額が落札額と符合しないときは、合計金額で入札したものとみなす。この場合で、落札者は内訳金額の補正を求められたときは、直ちに合計金額に基づいてこれを補正しなければならない。
- (3) 落札の決定後、この入札に付する委託業務に係る契約書を作成し、契約が確定するまでの間において、当該落札者が入札公告又は入札説明書に掲げるいずれかの要件を満たさなくなった場合又は満たさないことが判明した場合

17 契約に関する事項

- (1) 契約の手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨とする。
- (2) 落札者は、契約保証金として契約額の100分の5以上の額を契約締結前に納付しなければならない。ただし、落札者が保険会社との間に岩手県を被保険者とする履行保証保険契約を締結し、当該保険証券を提出したときは、契約保証金の全部又は一部の納付を免除する。
- (3) 契約保証金は、契約の相手方が契約を履行しないときは岩手県に帰属する。
- (4) 契約条項は別添契約書案のとおりとする。

18 調達手続の停止

令和 8 年度岩手県立病院等事業会計予算が成立しない場合、本件調達手続について停止の措置を行うことがある。

19 苦情の申立て

本手続における入札参加資格の確認、その他の手続に関し、政府調達に関する苦情の処理手続（平成 8 年岩手県告示第 215 号）により、岩手県政府調達苦情検討委員会（連絡先 岩手県出納局会計課、電話番号 019-629-5990）に対して苦情を申し立てることができる。

20 その他

- （１）入札参加者若しくはその代理人又は契約の相手方がこの一般競争入札に関して要した費用については、全て当該入札参加者又は当該契約の相手方が負担するものとする。
- （２）提出された書類は、返還しない。
- （３）提出された書類は、この一般競争入札に係る審査等で使用する場合を除き、提出者に無断で使用しないものとする。
- （４）提出された書類を、この一般競争入札に係る審査等で使用する場合、必要に応じて複製する場合がある。
- （５）その他入札参加資格の確認にあたり、必要な書類の提出を求める場合がある。
- （６）本業務の受託者は、今後発注される本業務委託に関連する業務や機器等の購入等において、契約業者となることを保証するものではない。